

平成 28 年度は、4 つの協力病院（川西湖山病院・最上町立最上病院・小国町立病院・公立高島病院）から大学での人事交流を行いました。3 日間という短い期間ではありましたが、多くの内容を体験していただきました。

本事業の人事交流は、小規模病院等の看護師と本学看護学科教員の人事交流を通して、お互いの業務の相互理解と教育力の向上を図ることを目的としています。人事交流を実施し、今年度もいくつかの課題も抽出されたことから、来年度の実施に向け、活かしていきたいと思います。



\*学生の授業に参加し、演習をしている様子



\*臨床実習のカンファレンスに参加



\*学生演習の事前準備・ミーティングに参加



\*指導ポイントの確認打ち合わせ



\*リネン交換演習に参加



(患者役にもなっていました。)

## ◆研修者の感想

- ・実習見学ということで、先生方と学生さんはもちろん、実習を受け入れる側の指導者の方の対応も学ぶことができ、今後どのように対応したら良いかが分かった。
- ・私達現場の看護師は、現在の大学での授業内容を理解し、それを踏まえた上で現場の指導に望むことが重要であると思った。
- ・自分が大切にしている看護観を、実習最終カンファレンスで学生に付いて得ることが出来、少しでも心に残ってくれたらうれしいと思った。
- ・人事交流を通して、自施設における人材育成の課題、展望を考える機会となった。
- ・小規模病院ならではの機能や地域の役割が多いため、多くの学生や先生にその業務や実際を知ってもらうためにも、人事交流のような機会がさらに増えると良いと思った。
- ・自施設の特徴・利点を学生さんたちに知ってもらうチャンスとして、今後もパイプ役となり、自身の看護実践の向上を図りながら、頑張っていきたい。